



一人一人が、大切な『協力者』です

先週は、急な一斉下校や臨時休校、また感染拡大防止に関わる自宅待機や検査実施、集団登校の安全確保など、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。依然として、手洗い、マスク着用の徹底や必要に応じた自宅待機など、感染症対策は続きますが、子どもたち、そしてご家族の命と健康を守る取り組みを続けてまいります。引き続き、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

今回のことを受け、学校では改めて、いわゆる「コロナ差別」を生まないための指導を行いました。この指導は一学期にも行っているため、もう一度学んだことを振り返り、確認する形で行いました。

※ この内容は、学校ホームページでも紹介しています。10月1日（金）発信のすぐメールにリンクを貼り付けましたが、うまくジャンプできないことがあったため、改めて掲載します。

今回特に強調したのは「一人一人が、感染からお互いを守るための大切な『協力者』である」ということです。現在体調が悪く健康回復に頑張っている人、待機指示などにより元気だけど自宅で自分や家族の健康を守っている人、学校に登校し手洗いやマスクなどの感染予防対策をして生活している人、すべての人が、それぞれの立場で感染症の拡大を防ぐために、”今の自分にできること”に精いっぱい取り組んでいる『協力者』であり、立場が違ってもお互いを大切にしていけるよう、学年に応じて話をしました。



教育委員会からの指示もあり、ご家族に発熱など体調不良がある場合も自宅待機をお願いするなど、保護者の皆様にもご協力をお願いすることが出てまいります。万が一『感染』となった場合にも、感染拡大を最小限に防げるようにするため、ご理解・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



マスク着用の意識も高まっています

2学期になり、集団登校でマスクをきちんと着用している児童が増えるとともに、登校班の中で「鼻、出てるよ」と声をかけあう姿も見られます。児童の意識の高まりに、ご家庭でのご協力の表れを感じます。ありがとうございます。

運動会について

先日お伝えした通り、運動会については、11月6日（土）の午前中、に実施予定で準備を進めています。昨年度同様、以下のように考えています。



- 午前中の時間帯を3学年ずつに分けて実施する「二部制」で実施
- お弁当なしで下校
- 参観者はお子さんが出場する時間帯のみ来校
- 車での上校なし
- 場所取り、イス等の設置なし（お子さんが出場する競技・演技以外は運動場周辺で待機）

種目は、原則として、**個人競技（徒競走）と集団演技（ダンス等）**です。競技・演技における感染症対策を行い、安心して実施できるよう、練習に取り組み始めています。今後は、参観者の人数制限などをPTA役員の皆さんとも相談し、**来週には詳しいお知らせができる見込み**です。子どもたちにとって大切な行事である運動会を、安全に実施できるよう、工夫、検討を進めています。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果（6年生）

令和3年5月27日(木)、小学校6年生、中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し改善を図るとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施しています。内部東小学校でも、今年度の結果を分析し、今後の学習指導に活かしていきます。



【教科（国語・算数）に関する調査】

- ・ 両教科とも基礎的な処理能力はあるが、自ら説明したり問題の意図を詳しく理解して解答したりすることが苦手な傾向があり、結果として教科トータルの全国平均を上回ってはいない。
- ・ 漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題では、正答率が高い。定期的なテストや、目標を決めて何度も繰り返すことにより定着していると考えられる。
- ・ 話の内容が明確になるようスピーチの構成を考えたり、資料を活用して自分の考えが伝わるように話したりする問題では、正答率が低かった。自分の考えや伝えたいことを話すなど、スピーチすることに苦手意識を持っている児童が多い。スピーチや、資料を用いて話すなどのことを経験する学習活動を充実させる必要がある。
- ・ 速さ・道のり・時間の関係や、三角形の底辺と高さの関係、割り算の割る数と割られる数の関係など、数値や図形の関係性を詳しく考えることに苦手さがある。公式は習得し計算はできるものの、問題文に出てきた順に数字を公式に当てはめてしまい正解できないことがあった。具体的な図を思い浮かべたり数直線に表したりして、問題の内容を深く理解する学習活動を充実させる必要がある。

【生活習慣や学習環境に関する調査】

- ・ 「朝食を毎日きちんと食べている」「毎日同じ時間に寝ている」「毎日同じ時間に起きている」など、生活リズムが整っている児童の割合が非常に高い。家庭の協力の成果が表れている。
- ・ 「自分によいところがある」や、チャレンジすることや将来の夢について、自信を持っていない児童の割合が高い傾向にある。家庭、学校が協力して児童の自尊感情を高める取り組みを進める必要がある。

令和3年度 みえスタディチェックの結果（4・5年生）

三重県独自の学習状況調査であるみえスタディチェックを、4年生（4月）、5年生（5月）に行いました。その結果概要についてもお知らせします。



- ・ 4年生、5年生ともに、国語における漢字の書き取り、算数における計算や立式など、基礎的な学習について強みが見られる。
- ・ 両学年とも、国語で文章を読み目的に応じて情報を捉えたり資料を関連付けて自分の考えを述べたりするなど、情報の整理や説明に弱みが見られる。算数では、複雑な問いや記述問題に弱みがみられる。

全国学力学習状況調査、みえスタディチェックの結果から、全体的な傾向をお伝えしました。この結果を受け、今後の指導の工夫のヒントを見つけて取り組んでまいります。個々の児童の学習の様子など、お気づきのことやお尋ねなどあれば、遠慮なく学校へお知らせください。